

野村クラウドコンピューティング& スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース

運用報告書(全体版)

第5期(決算日2015年4月27日)

作成対象期間(2014年4月29日~2015年4月27日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2010年4月16日から2020年4月27日(当初、2015年4月27日)までです。	
運用方針	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

< Aコース >

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株組 入比	式率	株先 物比	式率	純資 産額
		税分	込配	み金					
(設定日) 2010年4月16日	円 10,000			円 —		% —		% —	百万円 18,205
1期(2011年4月27日)	11,233			250		14.8	90.1	—	8,824
2期(2012年4月27日)	11,137			250		1.4	97.3	—	2,454
3期(2013年4月30日)	10,297			10		△ 7.5	92.9	—	1,928
4期(2014年4月28日)	12,921			630		31.6	95.9	—	1,006
5期(2015年4月27日)	14,035			725		14.2	99.3	—	822

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	基準価額		株組 入比	式率	株先 物比	式率
		騰	落				
(期首) 2014年4月28日	円 12,921			% —		% 95.9	% —
4月末	12,815			△ 0.8		94.6	—
5月末	12,964			0.3		91.7	—
6月末	13,599			5.2		92.1	—
7月末	13,548			4.9		96.8	—
8月末	13,903			7.6		98.1	—
9月末	13,908			7.6		98.1	—
10月末	13,308			3.0		96.9	—
11月末	14,335			10.9		96.7	—
12月末	14,239			10.2		100.2	—
2015年1月末	13,796			6.8		95.5	—
2月末	14,859			15.0		98.3	—
3月末	14,427			11.7		96.5	—
(期末) 2015年4月27日	14,760			14.2		99.3	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準価額			株組 入比	式率	株先 物比	式率	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰 落					
(設定日) 2010年4月16日	円 10,000		円 —		% —	% —	% —	% —	百万円 94,591
1期(2011年4月27日)	10,206		50		2.6	93.1	—	—	64,829
2期(2012年4月27日)	10,192		30		0.2	97.6	—	—	19,898
3期(2013年4月30日)	11,094		200		10.8	94.6	—	—	11,886
4期(2014年4月28日)	14,310		700		35.3	99.2	—	—	8,893
5期(2015年4月27日)	18,064		900		32.5	99.5	—	—	9,649

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	基準価額		株組 入比	式率	株先 物比	式率
		騰	落率				
(期首) 2014年4月28日	円 14,310		% —		% 99.2		% —
4月末	14,255		△ 0.4		95.0		—
5月末	14,294		△ 0.1		92.5		—
6月末	14,954		4.5		93.0		—
7月末	15,107		5.6		96.5		—
8月末	15,624		9.2		96.3		—
9月末	16,493		15.3		96.8		—
10月末	15,769		10.2		95.5		—
11月末	18,301		27.9		95.6		—
12月末	18,511		29.4		97.3		—
2015年1月末	17,604		23.0		96.9		—
2月末	19,126		33.7		98.8		—
3月末	18,693		30.6		95.8		—
(期末) 2015年4月27日	18,964		32.5		99.5		—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

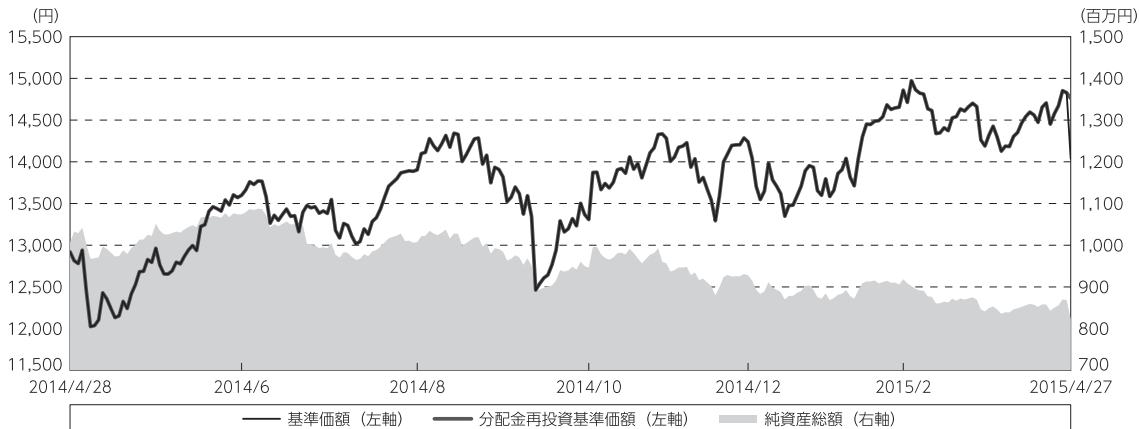
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

< Aコース >

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：12,921円

期 末：14,035円 (既払分配金 (税込み) :725円)

騰落率： 14.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

作成期首 (2014年4月28日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首12,921円から期末14,035円になりました。

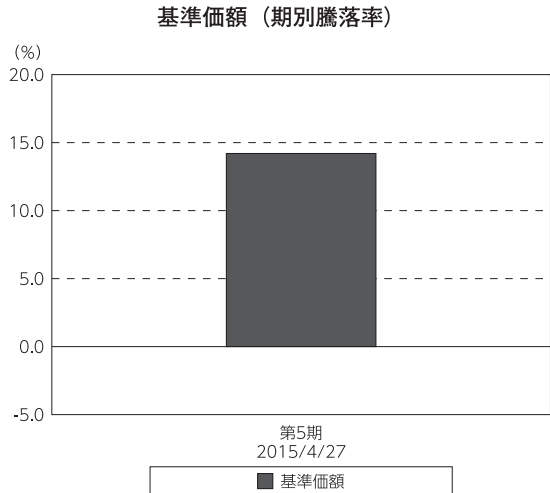
- ・2014年4月から7月にかけて、ECB (欧州中央銀行) が利下げを行ったことや、米国の経済指標が好感されるなどして、保有銘柄含め株式市場が上昇したこと
- ・2014年8月から9月にかけて、決算業績が好感されるなどして、保有銘柄の株価が上昇したこと
- ・2014年10月に、世界の景気減速懸念が強まり、企業の業績見通しの下方修正などを受けて、保有銘柄含めテクノロジー関連銘柄の株価が下落したこと
- ・2015年2月に、ギリシャ情勢の改善期待や米国の政策金利引き上げについて慎重であることが示唆されたことなどを背景に、保有銘柄含め株式市場が上昇したこと

< Aコース >

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

< Aコース >

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり725円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第5期
	2014年4月29日～ 2015年4月27日
当期分配金	725
(対基準価額比率)	4.912%
当期の収益	725
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,035

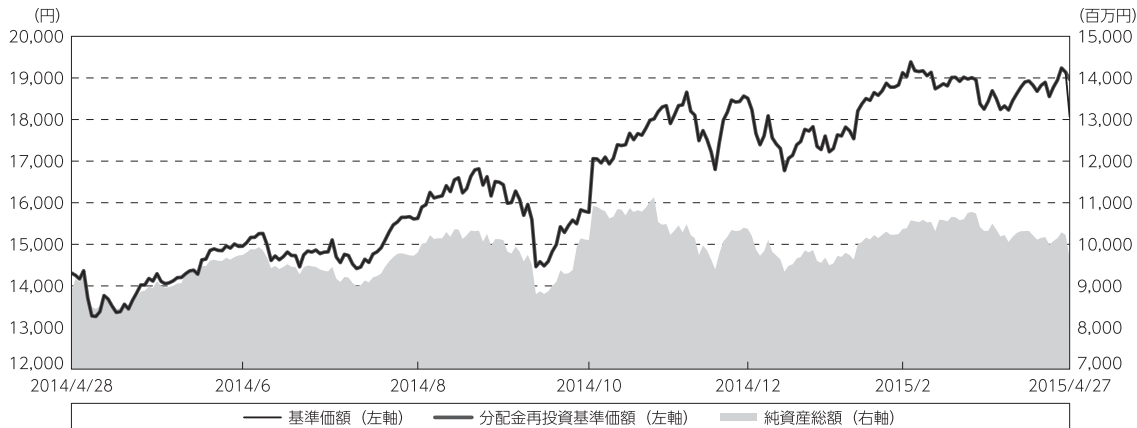
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 作成期首(2014年4月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首14,310円から期末18,064円になりました。

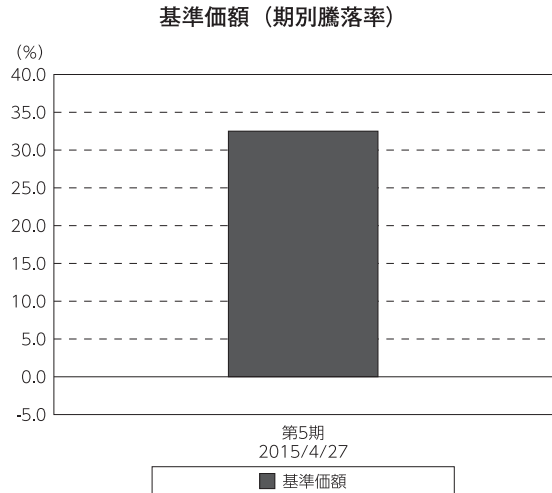
- ・2014年4月から7月にかけて、ECB(欧州中央銀行)が利下げを行ったことや、米国の経済指標が好感されるなどして、保有銘柄含め株式市場が上昇したこと
- ・2014年8月から9月にかけて、決算業績が好感されるなどして、保有銘柄の株価が上昇したこと
- ・2014年10月に、世界の景気減速懸念が強まり、企業の業績見通しの下方修正などを受けて、保有銘柄含めテクノロジー関連銘柄の株価が下落したこと
- ・2014年11月に、日銀による金融緩和実施を受け、円安が進んだこと
- ・2015年2月に、ギリシャ情勢の改善期待や米国の政策金利引き上げについて慎重であることが示唆されたことなどを背景に、保有銘柄含め株式市場が上昇したこと

<Bコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり900円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第5期
	2014年4月29日～ 2015年4月27日
当期分配金	900
(対基準価額比率)	4.746%
当期の収益	900
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,063

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

< Aコース / Bコース >

○投資環境

期中の世界株式市場は、中東情勢やウクライナ情勢の地政学的リスク及びECBを始めとする中央銀行の金融政策に対する市場の期待に左右される展開となり、期を通じては上昇となりました。

為替市場では、期を通じては、米ドルに対して円安となりましたが、ユーロに対しては円高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース〕および〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース〕は、主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、株価の割安度、流動性等を勘案した上で投資銘柄を選定しました。クラウドコンピューティング関連企業とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。また、スマートグリッド関連企業とは、スマートグリッド構築にあたって、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する、通信・制御システムを提供する企業や、送配電網関連機器や電力貯蔵装置等を製造する企業等をいいます。
- ・バリュエーションの観点から銘柄入れ替えや投資比率の変更を行いました。具体的には、米国のパソコン・メーカーなどを購入し、米国のソフトウェアメーカーなどを売却しました。また、米国の口コミサイト運営企業を全売却しました。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース]

・ **株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・ **為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース]

・ **株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・ **為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

< Aコース / Bコース >

◎今後の運用方針

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース]

主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース]

主要投資対象である〔野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

[野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド]

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に引き続き投資をしていきます。
- ・景気の不透明感が弱まり、クラウド関連への投資は増えてくると考えており、テクノロジー分野においては、クラウド導入が今後も大きな流れであり続けると考えています。一方で、市場心理の変化や予期せぬ成長鈍化などにより株価変動が大きくなることも考えられるので、市場のリスクに注視してまいります。引き続き、組入候補銘柄を精査し、投資価値があると判断した銘柄をポートフォリオに組み入れていきたいと考えております。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

<Aコース>

○1万口当たりの費用明細

(2014年4月29日～2015年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	263	1.906	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(149)	(1.077)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(104)	(0.754)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(10)	(0.075)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 有 価 証 券 取 引 税	34	0.250	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(34)	(0.250)	
(c) そ の 他 費 用	5	0.036	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.031)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	302	2.192	
期中の平均基準価額は、13,808円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

< Aコース >

○売買及び取引の状況

(2014年4月29日～2015年4月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	千口 39,768	千円 67,600	千口 279,179	千円 548,300

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2014年4月29日～2015年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド 32,579,837千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,434,742千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.12

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2014年4月29日～2015年4月27日)

利害関係人との取引状況

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	%	うち利害関係人との取引状況 D	D/C	%
為替先物取引	百万円 6,072	百万円 175	2.9	百万円 5,738	百万円 82	1.4

<野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

< Aコース >

○組入資産の明細

(2015年4月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	609,022	369,611	819,021

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年4月27日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	819,021	93.8
コール・ローン等、その他	54,486	6.2
投資信託財産総額	873,507	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（10,382,767千円）の投資信託財産総額（11,151,963千円）に対する比率は93.1%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=118.93円、1ユーロ=129.22円、1香港ドル=15.35円、1ウォン=0.1107円。

< Aコース >

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,664,685,318
コール・ローン等	13,783,159
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(評価額)	819,021,123
未収入金	831,881,014
未収利息	22
(B) 負債	842,455,073
未払金	791,320,040
未払収益分配金	42,473,310
未払解約金	16,032
未払信託報酬	8,631,116
その他未払費用	14,575
(C) 純資産総額(A-B)	822,230,245
元本	585,838,765
次期繰越損益金	236,391,480
(D) 受益権総口数	585,838,765口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,035円

(注) 期首元本額778百万円、期中追加設定元本額60百万円、期中一部解約元本額253百万円、計算口数当たり純資産額14,035円。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額64,375,681円。(野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド)

○損益の状況 (2014年4月29日～2015年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	6,680
受取利息	6,680
(B) 有価証券売買損益	124,527,597
売買益	323,067,446
売買損	△198,539,849
(C) 信託報酬等	△ 18,303,571
(D) 当期損益金(A+B+C)	106,230,706
(E) 前期繰越損益金	101,843,371
(F) 追加信託差損益金	70,790,713
(配当等相当額)	(58,477,516)
(売買損益相当額)	(12,313,197)
(G) 計(D+E+F)	278,864,790
(H) 収益分配金	△ 42,473,310
次期繰越損益金(G+H)	236,391,480
追加信託差損益金	70,790,713
(配当等相当額)	(58,520,978)
(売買損益相当額)	(12,269,735)
分配準備積立金	165,600,767

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2014年4月29日～2015年4月27日)は以下の通りです。

項 目	第5期
	2014年4月29日～ 2015年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	5,555,648円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	100,675,058円
c. 信託約款に定める収益調整金	70,790,713円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	101,843,371円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	278,864,790円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	4,760円
g. 分配金	42,473,310円
h. 分配金(1万口当たり)	725円

< Aコース >

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	725円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

- ①運用報告書 (全体版) について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日 : 2014年12月1日>
- ②書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日 : 2014年12月1日>
- ③書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日 : 2014年12月1日>
- ④デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日 : 2015年1月23日>
- ⑤野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドの運用の外部委託先であるアリアンツ・グローバル・インベスターズ・ヨーロッパGmbH (Allianz Global Investors Europe GmbH) の名称をアリアンツ・グローバル・インベスターズGmbH (Allianz Global Investors GmbH) に変更する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日 : 2015年1月23日>

<Bコース>

○1万口当たりの費用明細

(2014年4月29日～2015年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 316	% 1.906	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(179)	(1.075)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(125)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(12)	(0.075)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 有 価 証 券 取 引 税	41	0.250	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(41)	(0.250)	
(c) そ の 他 費 用	6	0.033	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	363	2.189	
期中の平均基準価額は、16,560円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2014年4月29日～2015年4月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	千口 1,333,560	千円 2,522,400	千口 2,556,616	千円 5,062,200

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2014年4月29日～2015年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	32,579,837千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,434,742千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.12	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2014年4月29日～2015年4月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2015年4月27日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	5,568,012	4,344,955	9,627,987

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年4月27日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド	9,627,987	93.9
コール・ローン等、その他	629,171	6.1
投資信託財産総額	10,257,158	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（10,382,767千円）の投資信託財産総額（11,151,963千円）に対する比率は93.1%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=118.93円、1ユーロ=129.22円、1香港ドル=15.35円、1ウォン=0.1107円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年4月27日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	10,257,158,170
コール・ローン等	99,170,546
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド(附屬)	9,627,987,464
未収入金	530,000,000
未収利息	160
(B) 負債	607,391,036
未払収益分配金	480,781,265
未払解約金	28,888,190
未払信託報酬	97,556,296
その他未払費用	165,285
(C) 純資産総額(A-B)	9,649,767,134
元本	5,342,014,060
次期繰越損益金	4,307,753,074
(D) 受益権総口数	5,342,014,060口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,064円

(注) 期首元本額6,215百万円、期中追加設定元本額2,260百万円、期中一部解約元本額3,133百万円、計算口数当たり純資産額18,064円。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額64,375,681円。(野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド)

○損益の状況 (2014年4月29日～2015年4月27日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	64,750
受取利息	64,750
(B) 有価証券売買損益	2,305,315,441
売買益	2,984,207,280
売買損	△ 678,891,839
(C) 信託報酬等	△ 187,807,806
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,117,572,385
(E) 前期繰越損益金	1,107,582,046
(F) 追加信託差損益金	1,563,379,908
(配当等相当額)	(719,473,775)
(売買損益相当額)	(843,906,133)
(G) 計(D+E+F)	4,788,534,339
(H) 収益分配金	△ 480,781,265
次期繰越損益金(G+H)	4,307,753,074
追加信託差損益金	1,563,379,908
(配当等相当額)	(721,824,650)
(売買損益相当額)	(841,555,258)
分配準備積立金	2,744,373,166

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2014年4月29日～2015年4月27日)は以下の通りです。

項目	第5期
	2014年4月29日～ 2015年4月27日
a. 配当等収益(経費控除後)	65,959,506円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	2,051,612,879円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,563,379,908円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,107,582,046円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	4,788,534,339円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	8,963円
g. 分配金	480,781,265円
h. 分配金(1万口当たり)	900円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	900円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

- ①運用報告書（全体版）について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ②書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ③書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ④デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2015年1月23日>
- ⑤野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンドの運用の外部委託先であるアリアンツ・グローバル・インベスターズ・ヨーロッパGmbH (Allianz Global Investors Europe GmbH) の名称をアリアンツ・グローバル・インベスターズGmbH (Allianz Global Investors GmbH) に変更する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2015年1月23日>

野村クラウドコンピューティング & スマートグリッド関連株投信 マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日2015年4月27日）

作成対象期間（2014年4月29日～2015年4月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。株式への投資にあたっては、独自のボトムアップリサーチにより各銘柄にレーティングを付与し、投資候補銘柄を選別します。各銘柄のレーティングに加え、株価の割安度、流動性等を勘案し、クラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株式への投資配分にも配慮した上で、ポートフォリオを構築します。
主な投資対象	世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
(設定日)	円		%	%	%	百万円
2010年4月16日	10,000		—	—	—	111,600
1期(2011年4月27日)	10,435		4.4	94.6	—	72,260
2期(2012年4月27日)	10,605		1.6	98.3	—	22,176
3期(2013年4月30日)	11,948		12.7	93.8	—	13,893
4期(2014年4月28日)	16,417		37.4	96.5	—	10,141
5期(2015年4月27日)	22,159		35.0	99.7	—	10,446

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率
		騰	落率		
(期首)	円		%	%	%
2014年4月28日	16,417		—	96.5	—
4月末	16,353		△ 0.4	95.7	—
5月末	16,426		0.1	93.3	—
6月末	17,218		4.9	93.7	—
7月末	17,418		6.1	96.2	—
8月末	18,042		9.9	96.7	—
9月末	19,076		16.2	97.1	—
10月末	18,263		11.2	96.5	—
11月末	21,243		29.4	96.4	—
12月末	21,533		31.2	97.9	—
2015年1月末	20,500		24.9	96.8	—
2月末	22,307		35.9	98.8	—
3月末	21,831		33.0	95.9	—
(期末)					
2015年4月27日	22,159		35.0	99.7	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



基準価額は、期首16,417円から期末22,159円になりました。

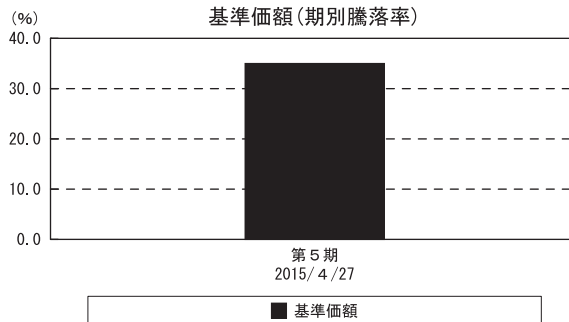
○基準価額の主な変動要因

- ・ 2014年4月から7月にかけて、ECB（欧州中央銀行）が利下げを行なったことや、米国の経済指標が好感されるなどして、保有銘柄含め株式市場が上昇したこと
- ・ 2014年8月から9月にかけて、決算業績が好感されるなどして、保有銘柄の株価が上昇したこと
- ・ 2014年10月に、世界の景気減速懸念が強まり、企業の業績見通しの下方修正などを受けて、保有銘柄含めテクノロジー関連銘柄の株価が下落したこと
- ・ 2014年11月に、日銀による金融緩和実施を受け、円安が進んだこと
- ・ 2015年2月に、ギリシャ情勢の改善期待や米国の政策金利引き上げについて慎重であることが示唆されたことなどを背景に、保有銘柄含め株式市場が上昇したこと

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っておらず、また、当ファンドの主要投資対象であるクラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株価の値動きを表す適切な指数等がないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

- ・世界的な情報技術等の発展、普及により恩恵を受けると考えられる、世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式に引き続き投資をしていきます。
- ・景気の不透明感が弱まり、クラウド関連への投資は増えてくると考えており、テクノロジー分野においては、クラウド導入が今後も大きな流れであり続けると考えています。一方で、市場心理の変化や予期せぬ成長鈍化などにより株価変動が大きくなることも考えられるので、市場のリスクに注視してまいります。引き続き、組入候補銘柄を精査し、投資価値があると判断した銘柄をポートフォリオに組み入れていきたいと考えております。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○1万口当たりの費用明細

(2014年4月29日～2015年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	円 48 (48)	% 0.250 (0.250)	(a)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.030 (0.030) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	54	0.280	
期中の平均基準価額は、19,184円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年4月29日～2015年4月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 32,548 (668)	千米ドル 135,282 (-)	百株 48,323 (-)	千米ドル 157,229 (20)
	ユーロ ドイツ	190	千ユーロ 1,106	10	千ユーロ 72
国	香港	880	千香港ドル 1,015	4,840	千香港ドル 5,470
	韓国	0.35	千ウォン 38,538	6	千ウォン 833,532

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。ただし、数値が単位未満の場合は小数で記載。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2014年4月29日～2015年4月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	32,579,837千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,434,742千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.12

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2014年4月29日～2015年4月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年4月27日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	—	138	1,172	139,402	インターネットソフトウェア・サービス
AMAZON.COM INC	80	29	1,321	157,219	インターネット販売・カタログ販売
ANGLE S LIST INC	2,150	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス
APPLE INC	—	657	8,565	1,018,743	コンピュータ・周辺機器
ATMEL CORP	2,038	—	—	—	半導体・半導体製造装置
BROADCOM CORP-CL A	—	596	2,652	315,406	半導体・半導体製造装置
CARE.COM INC	232	190	129	15,402	インターネットソフトウェア・サービス
CISCO SYSTEMS	—	1,467	4,228	502,909	通信機器
CORNING INC	—	296	667	79,358	電子装置・機器・部品
FACEBOOK INC-A	807	574	4,685	557,201	インターネットソフトウェア・サービス
F5 NETWORKS INC	—	139	1,716	204,144	通信機器
FINISAR CORPORATION	755	—	—	—	通信機器
FIREEYE INC	423	—	—	—	ソフトウェア
GOOGLE INC-CL A	20	48	2,779	330,551	インターネットソフトウェア・サービス
GROUPON INC	8,720	6,937	4,936	587,076	インターネット販売・カタログ販売
HOMEAWAY INC	1,604	1,304	3,546	421,778	インターネットソフトウェア・サービス
INTEL CORP	—	948	3,041	361,688	半導体・半導体製造装置
JUNIPER NETWORKS INC	—	362	948	112,757	通信機器
LAM RESEARCH	—	200	1,538	183,031	半導体・半導体製造装置
MAXIM INTEGRATED PRODUCTS	639	—	—	—	半導体・半導体製造装置
MICROSOFT CORP	2,245	1,118	5,355	636,952	ソフトウェア
MICROCHIP TECHNOLOGY	239	—	—	—	半導体・半導体製造装置
MICRON TECHNOLOGY	—	707	2,065	245,628	半導体・半導体製造装置
ON SEMICONDUCTOR CORPORATION	2,658	2,477	2,879	342,423	半導体・半導体製造装置
ORACLE CORPORATION	440	—	—	—	ソフトウェア
PANDORA MEDIA INC	—	228	419	49,899	インターネットソフトウェア・サービス
QIHOO 360 TECHNOLOGY CO-ADR	60	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス
RENREN INC-ADR	5,724	4,656	1,420	168,897	インターネットソフトウェア・サービス
ROCKET FUEL INC	235	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス
SALESFORCE.COM INC	553	612	4,156	494,306	ソフトウェア
SERVICENOW INC	196	84	641	76,241	ソフトウェア
SILICON LABORATORIES	399	—	—	—	半導体・半導体製造装置
SKYWORKS SOLUTIONS INC	525	329	3,072	365,396	半導体・半導体製造装置
SOLARCITY CORP	247	175	1,050	124,876	電気設備
SPLUNK INC	184	—	—	—	ソフトウェア
TABLEAU SOFTWARE INC-CL A	438	150	1,543	183,528	ソフトウェア
TERADATA CORP	347	—	—	—	情報技術サービス
TERADYNE INC	797	—	—	—	半導体・半導体製造装置
TESLA MOTORS INC	—	73	1,594	189,634	自動車
TRIMBLE NAVIGATION LTD	507	—	—	—	電子装置・機器・部品
TRINA SOLAR LTD-SPON ADR	2,781	—	—	—	半導体・半導体製造装置
TWITTER INC	592	337	1,714	203,925	インターネットソフトウェア・サービス
WESTERN DIGITAL CORP	199	136	1,356	161,340	コンピュータ・周辺機器
WORKDAY INC-CLASS A	138	—	—	—	ソフトウェア
YELP INC	1,239	1,170	5,921	704,228	インターネットソフトウェア・サービス
YOKU TUDOU INC	643	—	—	—	インターネットソフトウェア・サービス

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ZULILY INC-CL A	331	—	—	—	
FREESCALE SEMICONDUCTOR LTD	943	—	—	インターネット販売・カタログ販売	
MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD	1,329	—	—	半導体・半導体製造装置	
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	—	246	1,642	半導体・半導体製造装置	
NXP SEMICONDUCTORS NV	426	387	3,694	ソフトウェア	
AVAGO TECHNOLOGIES LTD	200	210	2,513	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額	42,099	26,993	82,970	9,867,726
	銘柄数<比率>	39	32	—	<94.5%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
SAP SE	—	180	1,244	160,770	ソフトウェア
ユーロ計	株数・金額	—	180	1,244	160,770
	銘柄数<比率>	—	1	—	<1.5%>
(香港)			千香港ドル		
LENOVO GROUP LTD	18,440	14,480	18,939	290,726	コンピュータ・周辺機器
小計	株数・金額	18,440	14,480	18,939	290,726
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.8%>
(韓国)			千ウォン		
SAMSUNG ELECTRONICS	12	6	895,350	99,115	コンピュータ・周辺機器
小計	株数・金額	12	6	895,350	99,115
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.9%>
合計	株数・金額	60,552	41,659	—	10,418,338
	銘柄数<比率>	41	35	—	<99.7%>

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

*株数・評価額の単位未満は切り捨て。

*—印は組み入れなし。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2015年4月27日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
株式	千円	%
	10,418,338	93.4
コール・ローン等、その他	733,625	6.6
投資信託財産総額	11,151,963	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産 (10,382,767千円) の投資信託財産総額 (11,151,963千円) に対する比率は93.1%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=118.93円、1ユーロ=129.22円、1香港ドル=15.35円、1ウォン=0.1107円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年4月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,190,018,064
コール・ローン等	651,198,196
株式(評価額)	10,418,338,295
未収入金	120,480,551
未収利息	1,022
(B) 負債	743,101,821
未払金	174,101,821
未払解約金	569,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	10,446,916,243
元本	4,714,566,807
次期繰越損益金	5,732,349,436
(D) 受益権総口数	4,714,566,807口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,159円

(注) 期首元本額6,177百万円、期中追加設定元本額1,373百万円、期中一部解約元本額2,835百万円、計算口数当たり純資産額22,159円。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Aコース 369百万円
 ・野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 Bコース 4,344百万円

○損益の状況 (2014年4月29日～2015年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	98,025,290
受取配当金	97,825,145
受取利息	200,145
(B) 有価証券売買損益	3,231,566,827
売買益	4,356,647,750
売買損	△1,125,080,923
(C) 保管費用等	△ 3,298,459
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,326,293,658
(E) 前期繰越損益金	3,964,087,968
(F) 追加信託差損益金	1,216,671,442
(G) 解約差損益金	△2,774,703,632
(H) 計(D+E+F+G)	5,732,349,436
次期繰越損益金(H)	5,732,349,436

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

- ①書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ②書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ③デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2015年1月23日>
- ④運用の外部委託先であるアリアンツ・グローバル・インベスターズ・US・エル・エル・シー (Allianz Global Investors U.S.LLC)、アリアンツ・グローバル・インベスターズ GmbH (Allianz Global Investors GmbH) およびRCMアジア・パシフィック・リミテッド (RCM Asia Pacific Limited) が委託会社から受ける報酬について、これまでファンドの信託財産の純資産総額の合計額の日々の平均値に応じた段階料率制としていましたが、今般、固定化された報酬率に変更する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2015年1月23日>
- ⑤運用の外部委託先であるアリアンツ・グローバル・インベスターズ・ヨーロッパGmbH (Allianz Global Investors Europe GmbH) の名称をアリアンツ・グローバル・インベスターズGmbH (Allianz Global Investors GmbH) に変更する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2015年1月23日>

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2015年4月27日現在)

年 月	日
2015年4月	-
5月	1、14、25
6月	4
7月	3
8月	-
9月	7
10月	-
11月	11、26
12月	24、25

※ 2015年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識している情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。